

## 解剖学(2) 実習

1 単位 3 年 (前期)

## Anatomy(2)

羽地 達次・教授 / 歯学科 口腔解剖学第二講座 (口腔組織学), 樋浦 明夫・准教授 / 歯学科 口腔解剖学第二講座 (口腔組織学)

【授業目的】講義で習得した知識を基盤として、顎・口腔領域の正常な組織標本を実際に自分の目で観察し、人体の組織の構造と機能を理解する。

【授業概要】代表的な顎・口腔領域の組織標本を顕微鏡下で観察、スケッチすることにより、口腔領域の組織の構造と機能を把握し、理解を深める。スケッチは、毎回、実習終了後に提出して評価を受ける。

【授業形式】実習

【授業方法】実習

【授業場所】第3実習室

【授業テーマ】講義で得た知識と本実習で得る視覚情報を総合する。

【キーワード】エナメル質, 象牙質, セメント質, 歯の発生, 口腔粘膜, 唾液腺

【履修上の注意】実習全回出席と全実習スケッチの提出をもって受験資格を認める。

【到達目標】 (＜> 内はコアカリ対応)

1. 歯の組織構造を説明できる。
2. 歯周組織の構成要素とその組織構造を説明できる。
3. 歯の発生段階と組織学的特徴を説明できる。
4. 唾液腺の構造と機能を説明できる。
5. 口腔粘膜を分類し、その組織学的特徴を説明できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	顕微鏡観察	歯 (研磨標本)	エナメル質, 象牙質, セメント質	1	羽地, 樋浦
2.	〃	歯 (脱灰標本)	象牙質, 歯髄	〃	〃
3.	〃	歯周組織	歯根膜, 歯槽骨, セメント質	2	〃
4.	〃	歯の発生 1 歯の発生 2	蕾状期, 帽状期 初期鐘状期, 後期鐘状期	3	〃
5.	〃	大唾液腺	耳下腺, 顎下腺, 舌下腺	4	〃
6.	〃	被覆粘膜 咀嚼粘膜	口唇, 軟口蓋 硬口蓋, 歯肉	5	〃
7.	〃	特殊粘膜	舌乳頭, 舌扁桃, 口蓋扁桃	5,6	〃

【成績評価】プレパラート等を用いた筆答試験およびスケッチの評価を総合して判定する。

【再試験】行う。

【教科書】

◇ 実習書: プリントを配付する。

◇ 参考書: カラーアトラス口腔組織発生学 第3版, わかば出版, 2009

◇ 参考書: Ten Cate 口腔組織学 第6版, 医歯薬出版, 2006

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217377>

【連絡先】

⇒ 羽地 (088-633-7321, tat-hane@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月～金 17:00-18:00/4F 口腔解剖第二・教授室))

⇒ 樋浦 (633-9121, hiuraaki@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: (月～金 17:00-18:00/4F 口腔解剖学第二・准教授室))